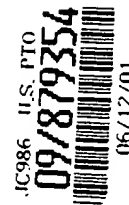


S01P0916US00

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 6月13日

出願番号
Application Number:

特願2000-177323

願人
Applicant(s):

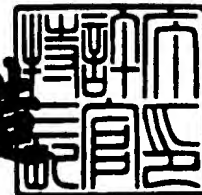
ソニー株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 4月13日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3030686

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000281602

【提出日】 平成12年 6月13日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
 内

 【氏名】 谷脇 吉典

【特許出願人】

 【識別番号】 000002185

 【氏名又は名称】 ソニー株式会社

 【代表者】 出井 伸之

【代理人】

 【識別番号】 100092152

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 服部 毅巖

 【電話番号】 0426-45-6644

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 005094

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 来場者情報収集システムおよび来場者情報収集方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 映画の上映や演劇等の公演が行われる会場内で来場者に対する情報の提供および収集を行う来場者情報収集システムにおいて、

前記来場者に対する提供情報を出力する提供情報出力手段と、

前記提供情報に対する前記来場者からの所定の回答情報が入力される回答情報入力手段と、

前記来場者の個人情報があらかじめ記憶された記憶媒体から前記個人情報を読み込む個人情報読み込み手段と、

前記提供情報を受信し、前記回答情報および前記個人情報を送信する送受信手段と、

を有する来場者端末装置と、

前記提供情報を蓄積し、記憶する提供情報記憶手段と、

前記提供情報を送信し、前記回答情報および前記個人情報を受信する送受信手段と、

前記回答情報および前記個人情報を集計する集計手段と、

を有する情報収集装置と、

によって構成されることを特徴とする来場者情報収集システム。

【請求項 2】 前記来場者端末装置は前記会場内の各座席に設置されることを特徴とする請求項 1 記載の来場者情報収集システム。

【請求項 3】 前記情報収集装置において集計された前記回答情報および前記個人情報の集計結果は、情報収集の依頼主の設置するサーバにネットワークを通じて送信されることを特徴とする請求項 1 記載の来場者情報収集システム。

【請求項 4】 前記提供情報は商品の広告情報であり、前記来場者は前記回答情報入力手段によって前記商品の購入申し込みを行うことを特徴とする請求項 1 記載の来場者情報収集システム。

【請求項 5】 前記記憶媒体に通貨価値を電子的に蓄積させ、前記来場者は前記個人情報読み込み手段によって前記購入申し込みに伴う料金決済を行うこと

を特徴とする請求項 4 記載の来場者情報収集システム。

【請求項 6】 前記情報収集装置は、前記各来場者からの前記購入申し込みを受信して集計し、集計結果をネットワークを通じて前記商品の販売業者の設置するサーバに送出することを特徴とする請求項 4 記載の来場者情報収集システム。

【請求項 7】 前記会場内での公演中に、公演内容に関する情報が前記提供情報として前記情報収集装置より逐次送信され、前記提供情報出力手段より出力されることを特徴とする請求項 1 記載の来場者情報収集システム。

【請求項 8】 前記来場者端末装置は受信した前記提供情報を一時記憶する記憶手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の来場者情報収集システム。

【請求項 9】 映画の上映や演劇等の公演が行われる会場内で来場者に対する情報の提供および収集を行う来場者情報収集方法において、

前記会場内に設置された情報収集装置から前記来場者に対する提供情報が送信され、

前記会場の各席に設置され前記情報収集装置とネットワークによって接続された来場者端末装置で、前記来場者の個人情報があらかじめ記憶された記憶媒体から前記個人情報が読み込まれ、前記提供情報が受信されて出力され、前記提供情報に対する前記来場者からの所定の回答情報が入力され、前記回答情報および前記個人情報が送信され、

前記情報端末装置で前記回答情報および前記個人情報が受信されて集計される

ことを特徴とする来場者情報収集方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、映画の上映や演劇等の公演が行われる会場において来場者に情報を提供し、また来場者から情報を収集してこの情報を集計する情報収集システムおよび情報収集方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

庶民にとっての代表的な娯楽である映画や演劇、音楽コンサート等が上映、開催される会場は多くの人が集まる場所であるので、これらを上映、開催する業者や関連する物品の販売業者等が、来場者より様々な情報を収集するのにたいへん都合がよい。このため従来では、主にアンケート用紙を用いて、公演の感想や要望等についての情報の収集が行われている。また、このような会場では主催者側によって、他の公演案内や関連商品等の情報が来場者に提供されている。この情報提供の例としては、パンフレットやビラの配付、ポスターの掲示等があり、映画館では本編の上映前にコマーシャルフィルムが流されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、アンケート用紙による情報収集では、用紙の配付や回収、筆記用具の用意等の手間がかかり、来場者にとっても記入や提出が負担になるので用紙の回収率は低いことが多く、収集可能な情報も限られていた。また、会場内でのパンフレットやビラの配付、ポスター掲示、コマーシャルフィルムの上映等による情報提供では、これらによって興味を持った来場者にそれ以上の詳しい関連情報の提供をすることは不可能で、十分な情報提供がされているとはいえなかった。さらに、会場内ではパンフレットやポスター等の関連商品を売店にて販売しているが、来場者にとっては購入した商品を自宅まで持ち歩くのは面倒なことであった。

【0004】

本発明は以上の課題に鑑みてなされたものであり、来場者に対するより多くの情報提供および情報収集を効率よく可能にする情報収集システムを提供することを目的とする。

【0005】

また、本発明の他の目的は、来場者に対するより多くの情報提供および情報収集を効率よく可能にする情報収集方法を提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明では上記課題を解決するために、映画の上映や演劇等の公演が行われる会場内で来場者に対する情報の提供および収集を行う来場者情報収集システムにおいて、前記来場者に対する提供情報を出力する提供情報出力手段と、前記提供情報に対する前記来場者からの所定の回答情報が入力される回答情報入力手段と、前記来場者の個人情報あらかじめ記憶された記憶媒体から前記個人情報を読み込む個人情報読み込み手段と、前記提供情報を受信し、前記回答情報および前記個人情報を送信する送受信手段と、を有する来場者端末装置と、前記提供情報を蓄積し、記憶する提供情報記憶手段と、前記提供情報を送信し、前記回答情報および前記個人情報を受信する送受信手段と、前記回答情報および前記個人情報を集計する集計手段と、を有する情報収集装置と、によって構成されることを特徴とする来場者情報収集システムが提供される。

【0007】

このような来場者情報収集システムでは、来場者端末装置の設置によって各来場者に対して多くの情報を提供することが可能になる。また、回答情報入力手段および個人情報読み込み手段によって来場者が情報を容易に入力可能で、この入力情報を情報収集装置で自動的に受信して集計するので、情報の提供者は提供した情報の内容に対する来場者からの回答情報を、来場者の個人情報とともに効率よく収集することができる。

【0008】

また、本発明では、映画の上映や演劇等の公演が行われる会場内で来場者に対する情報の提供および収集を行う来場者情報収集方法において、前記会場内に設置された情報収集装置から前記来場者に対する提供情報が送信され、前記会場の各席に設置され前記情報収集装置とネットワークによって接続された来場者端末装置で、前記来場者の個人情報あらかじめ記憶された記憶媒体から前記個人情報が読み込まれ、前記提供情報が受信されて出力され、前記提供情報に対する前記来場者からの所定の回答情報が入力され、前記回答情報および前記個人情報が送信され、前記情報端末装置で前記回答情報および前記個人情報が受信されて集計されることを特徴とする来場者情報収集方法が提供される。

【0009】

このような来場者情報収集方法では、来場者端末装置の設置によって各来場者に対して多くの情報を提供することが可能になる。また、回答情報入力手段および個人情報読み込み手段によって来場者が情報を容易に入力可能で、この入力情報を情報収集装置で自動的に受信して集計するので、情報の提供者は提供した情報の内容に対する来場者からの回答情報を、来場者の個人情報とともに効率よく収集することができる。

【0010】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

図1に本発明の来場者情報収集システムの概要について示す。

【0011】

来場者情報収集システム1は、映画館や劇場、コンサートホール等の様々な会場10において、来場者に対して情報を提供し、また来場者より情報の収集を行うためのシステムである。来場者情報収集システム1は、情報の提供および収集した情報の集計を行う情報収集装置11と、来場者に情報を出力し、また来場者によって情報の入力可能な来場者端末装置12、13および14によって構成され、これらは会場10内に敷設されたLAN (Local Area Network) 等の情報の高速伝送が可能なネットワーク15によって接続されている。情報収集装置11は、ネットワーク15と接続して情報の送受信を行う送受信手段111と、来場者に提供する提供情報を蓄積し、記憶する提供情報記憶手段112と、提供情報に対しての来場者からの回答情報を集計する集計手段113によって構成される。また、来場者端末装置12は、ネットワーク15に接続して情報の送受信を行う送受信手段121と、提供情報を来場者に対して出力する提供情報出力手段122と、来場者の個人情報があらかじめ記憶された記憶媒体から情報を読み込む個人情報読み込み手段123と、提供情報に対する来場者からの回答情報が入力される回答情報入力手段124によって構成される。来場者端末装置13および14は来場者端末装置12と同様の構成となっており、これらは会場10内の各座席に1つずつ設置される。なお、この来場者端末装置12、13および14はこの3つに限ったものでなく、座席数に合わせて存在する。

【 0 0 1 2 】

以上の来場者情報収集システム 1 と同様な構成である来場者情報収集システム 2 および 3 が、全国の会場 2 0 および 3 0 において構築される。これらは公衆電話回線やインターネット等のネットワーク 7 0 によって、情報提供・収集業者 4 0 や販売業者 5 0、および来場者の自宅 6 0 等に設置されたコンピュータ装置と接続される。情報提供・収集業者 4 0 とは、会場 1 0、2 0 および 3 0 での来場者に情報を提供したり、あるいは来場者の意見や要望等の回答情報を収集する業者で、例えば映画を上映する配給会社や、コンサートの興行会社、あるいはこれらより情報の提供、収集を依頼された会社等である。また、販売業者 5 0 は、会場 1 0、2 0 および 3 0 にて来場者情報収集システム 1、2 および 3 を通じて、公演の関連商品等を販売する会社である。なお、会場 1 0、2 0 および 3 0 はこの 3 つに限らず複数存在する。また、情報提供・収集業者 4 0 および販売業者 5 0 はあくまで例であり、例えばこれらが複数存在してもよいし、情報提供業者と情報収集業者が別に存在しても構わない。

【 0 0 1 3 】

情報収集装置 1 1 において、来場者に提供する公演や商品の広告、あるいは関連商品の販売等の提供情報が、提供情報記憶手段 1 1 2 にあらかじめ蓄積され、記憶される。あるいはこれらの提供情報は、ネットワーク 7 0 を介して送受信手段 1 1 1 によって受信され、提供情報記憶手段 1 1 2 に蓄積、記憶されてもよい。蓄積された提供情報は、会場 1 0 内のネットワーク 1 5 を通じて、各座席に設置された来場者端末装置 1 2、1 3 および 1 4 に、必要な情報が所定の時刻に送信される。

【 0 0 1 4 】

来場者端末装置 1 2 は、例えば会場 1 0 内の各座席の肘掛け部等に設置される。個人情報読み込み手段 1 2 3 は例えば IC カード用のカードリーダーやリーダーライタで、来場者は携帯してきた IC カード等の記憶媒体を個人情報読み込み手段 1 2 3 に差し込む等によって、記憶された個人情報を来場者端末装置 1 2 内に読み込ませる。この後、情報収集装置 1 1 から送出された各種の情報を送受信手段 1 2 1 で受信し、提供情報出力手段 1 2 2 によって画面表示等によって出力され

る。

【0015】

この出力情報としては、例えば、公演前の時間には公演の関連商品の紹介等が表示され、公演中には出演者の名前や登場人物の関係図等、公演内容の理解を助ける情報が表示され、公演終了後にはアンケートが表示される。来場者は回答情報入力手段124を用いて、必要に応じて回答情報を入力することができ、この回答情報は情報収集装置11に送出される。例えばアンケート情報に対して回答を入力すると、この回答情報とともに、個人情報読み込み手段123によって読み込まれた来場者の年齢や職業等の情報が、情報収集装置11に送出される。また、紹介された商品等の情報に対して資料請求の要否を問う画面から、「Yes」と入力することにより、資料を請求する情報が、記憶媒体から読み込まれていた個人情報の中の氏名、住所、電話番号等の情報とともに、情報収集装置11に送出される。さらに、個人情報が書き込まれた記憶媒体に、通貨価値を電子的に蓄積させた電子マネーに機能を持たせ、表示された商品に対して購入を希望するという情報を入力すると同時に代金の決済を行い、商品を注文することもできる。

【0016】

このように来場者端末装置12、13および14で入力され送信された回答情報は、情報収集装置11において受信され、集計手段113によって集計される。例えばアンケートに対する項目の回答、回答者の年齢や職業等の情報の集計や、資料請求、あるいは商品の注文のリスト等が行われる。これらの集計結果は、この情報収集装置11を管理する会場10等において利用されるか、あるいは必要に応じて、情報提供・収集業者40や販売業者50等に送出される。この情報提供・収集業者40や販売業者50では、例えば全国の各会場10、20および30から必要な情報を収集して集計し、アンケート結果を業務の参考にしたり、あるいは注文された商品を来場者の自宅に郵送等によって届ける。また、資料請求等に対しては、電子メールを利用して来場者に資料を送出してもよい。

【0017】

このように、公演を運営する業者側にとっては、各座席に設置された来場者端

末装置を用いることによって、各来場者に対してより多くの情報を提供することが可能となる。また、回答情報入力手段および個人情報読み込み手段によって来場者が情報を容易に入力可能なため、提供した情報の内容に対する来場者からの反応を、人手を費やさずに効率よく知ることができる。さらに来場者にとっても、関連商品や公演内容の理解を補助する等の多くの有益な情報を得ることができ、かつ、さらなる詳細な情報を知るための資料請求を容易に行うことができる。また、電子マネー機能を用いれば、関連商品の注文および決済を行うことができ、従来のように購入時に売店に並んだり、帰宅時に持ち歩く手間が省かれる。この商品の販売業者は、販売のために会場 1 0、2 0 および 3 0 内で販売員を置く必要がなくなり、販売効率を高められる。

【 0 0 1 8 】

次に、図 2 に来場者情報収集システム 1 の装置構成例を示す。なお、以下の説明では会場 1 0 を映画館とする。

情報収集装置 1 1 は、MODEM (Modulator-Demodulator) や LAN アダプタ等で構成されるネットワーク接続のためのインタフェース 1 1 a と、プロセッサや ROM (Read Only Memory)、RAM (Random Access Memory) 等によって構成され、各種の制御処理を行う制御装置 1 1 b と、ハードディスク等で構成され、提供情報や各種の処理プログラム等が記憶される記憶装置 1 1 c によって構成されるコンピュータサーバ装置である。情報収集装置 1 1 における各処理は、記憶装置 1 1 c 等に格納された各処理プログラムを実行することによって行われる。

【 0 0 1 9 】

また、来場者端末装置 1 2 は、LAN アダプタ等で構成されるネットワーク接続のためのインタフェース 1 2 a と、プロセッサ、ROM、RAM 等で構成され、各種の制御処理を行う制御装置 1 2 b と、IC カードが差し込まれて情報の読み込みおよび書き込みを行うリーダライタ 1 2 c と、提供された情報が表示されるディスプレイ 1 2 d と、来場者が情報の入力をするための入力キー 1 2 e と、半導体 RAM 等で構成され、提供された情報を一時記憶するための記憶装置 1 2 f によって構成される。また、この他に提供情報を音声によって出力するイ

ヤホン端子およびイヤホン等が設けられてもよい。来場者端末装置 13 および 14 も同様の装置構成であり、これらは会場 10 内の各座席に設置され、LAN 15a によって情報収集装置 11 と接続される。

【0020】

ここで、図 3 に来場者端末装置 12 の形態例を示す。図 3 (a) は来場者端末装置 12 の座席への設置例、(b) は外観の平面図を示す。

来場者端末装置 12 は会場 10 内で、例えば図 3 (a) に示したように座席 120 の肘掛け部や、あるいは背もたれの裏側等、座席に座った来場者が表示を見やすく、また操作しやすい場所に設置される。この来場者端末装置 12 の上面には図 3 (b) に示すように、個人情報記憶された IC カードが挿入されるリーダライタ 12c のカード挿入部 12g と、提供情報を表示するための液晶等による小型のディスプレイ 12d と、情報の入力を行うための入力キー 12e が設けられている。なお、入力キー 12e の代わりに、ディスプレイ 12d として、画面上を手で触れることによって情報の入力が可能なタッチパネル式のものを採用し、入力手段を兼ねるようにしてもよい。

【0021】

IC カードは会場 10 の受付や所定の店舗等で事前に作成され、作成時にカード内部の IC メモリに氏名、住所、年齢、電子メールアドレス等の個人情報を記憶させる。また、この登録手続きの際に、IC カードに固有の番号と、この持ち主を識別するための暗証番号が登録され、情報収集装置 11 の記憶装置 11c、あるいは映画の配給会社の運営するサーバ等に記憶される。この IC カードは来場者一人一人が所有し、例えば全国の映画館で共通に利用することが可能であり、一度作成した IC カードを以後、映画館に入場する際に必ず持参する。来場者は座席に座るとまずこの IC カードをカード挿入部 12g に挿入し、個人情報を来場者端末装置 12 内に読み込ませてから、ディスプレイ 12d より情報の提供を受ける。あるいは、入力キー 12e によって提供情報に対する回答情報を入力する際に、IC カードを挿入する。また、この IC カードは、銀行口座から電子的に通貨価値を移して蓄積する電子マネーの機能を持っている。これによって、ディスプレイ 12d に表示された商品の購入を希望したときに、この来場者端末

装置 1 2 から注文するだけでなく、料金の決済をすることが可能となる。

【 0 0 2 2 】

次に、図 4 に映画館における来場者端末装置 1 2 の動作フローを示す。

来場者が所定の座席に着くと、まず来場者端末装置 1 2 のカード挿入部 1 2 g に IC カードが挿入され (S 4 0 1) 、制御装置 1 2 b の処理によって、ディスプレイ 1 2 d に暗証番号入力画面が表示される。この暗証番号は、後に来場者がアンケート等に回答し、IC カードより個人情報を読み込み送出する際の、IC カードと持参者の認証のためのものである。来場者によって入力キーから暗証番号が入力されると、この入力番号が情報収集装置 1 1 に送出され、IC カード作成の際に登録された正規の暗証番号と一致するか否かが判断される。また、この入力番号は情報収集装置 1 1 から公衆電話回線 7 0 a を通じて映画会社の設置するサーバに送出され、このサーバにおいて認証が行われてもよい。この認証処理で、登録された暗証番号と入力番号とが一致しない場合は (S 4 0 2) 、IC カードを持参した来場者が正しい持ち主でないことになるので、この IC カードは使用できず、カード挿入部 1 2 g より取り出される (S 4 2 4) 。

【 0 0 2 3 】

登録された暗証番号と入力番号が一致し、IC カードの認証が完了すると (S 4 0 2) 、情報収集装置 1 1 から送出される提供情報の受信が開始される。映画館の場合、例えば映画の上映が始まるまでの間、パンフレットやポスター等、映画の関連商品を紹介する情報が受信され、ディスプレイ 1 2 d に表示される (S 4 0 3) 。

【 0 0 2 4 】

商品の紹介画面が表示されている間に、入力キー 1 2 e の操作によって表示された商品を購入することが可能である。入力キー 1 2 e よりこの商品を購入するという情報が入力されると (S 4 0 4) 、制御装置 1 2 b の処理によって、リーダライタ 1 2 c で IC カードより読み込んだ購入者の氏名や住所等の個人情報と購入商品の名称を含む購入情報が情報収集装置 1 1 に送信される (S 4 0 5) 。情報収集装置 1 1 からは、料金決済のための暗証番号の入力画面情報が送信され、この入力画面がディスプレイ 1 2 d に表示される。この暗証番号は IC カード

の電子マネー機能を用いて料金を決済するためのもので、使用される暗証番号は、カード差し込み時の認証処理に用いたものと別の番号としてもよい。来場者によって暗証番号が入力され、入力番号を情報収集装置 11 に送出して認証が行われて、登録された番号と一致しない場合は (S406)、商品の購入処理が中止され、商品の紹介画面に戻る。また、番号が一致した場合は (S406)、情報収集装置 11 よりこの旨の情報を受信して、リーダライタ 12c によって、IC カード内に蓄積された金額から商品の代金分を引き落として料金の決済を行い (S407)、情報収集装置 11 との通信で料金が正しく引き落とされたことが確認されると、商品購入処理が終了する。映画の上演開始時間までの間は、再び商品情報の受信を開始し、このような関連商品の紹介が続けられる (S403~408)。

【0025】

映画の上映開始時間になると (S408)、本編の上映の前に他の映画や商品等のコマーシャルフィルムが上映される。このとき、情報収集装置 11 からはこのコマーシャルフィルムで示された映画や商品等の情報が同時に送出され、来場者端末装置 12 はこれを受信し、ディスプレイ 12d に表示する (S409)。この内容に関して来場者が興味を感じた場合には、入力キー 12e の操作によって資料請求をすることができる。資料を請求するという情報が入力キー 12e より入力されると (S410)、リーダライタ 12c によって氏名、住所あるいは電子メールアドレス等の個人情報を読み込み、資料請求情報として情報収集装置 11 に送出する (S411)。コマーシャルフィルムが上映されている間は、再びこの内容に関する情報を受信し、表示を続ける (S409~412)。

【0026】

また、映画の本編の上映が開始されると (S412)、この映画の内容に関する情報を、映画の進行に連動して情報収集装置 11 から受信し、ディスプレイ 12d に表示する (S413)。この情報は、例えば現在の場面に出演している俳優名、舞台となっている場所、流れている曲の曲名等で、また、登場する人物の関係が複雑な映画の場合は、出演者の関係図等、映画の理解度を向上させる情報を表示する。来場者は、このように内容に関する情報の表示中に、例えば印象的

なシーン等で、入力キー 12 e の操作によって、このとき表示されていた情報を来場者端末装置 12 内に記憶させ、映画終了後に再び表示させることができる。入力キー 12 e によってこのような映画の内容情報を記憶する指示入力があると (S 4 1 4)、制御装置 12 b の制御によって、このとき受信されていた情報を記憶装置 12 f に記憶する (S 4 1 5)。記憶処理が終了すると、このような内容に関する情報の受信を、映画の上映終了まで続ける (S 4 1 3 ~ 4 1 6)。

【0027】

映画の上映が終了すると (S 4 1 6)、上映中に記憶装置 12 f に記憶された情報がある場合は (S 4 1 7)、この情報を記憶装置 12 f から読み出してディスプレイ 12 d に表示する (S 4 1 8)。記憶された情報がない場合、あるいはこの情報の表示が終了すると、情報収集装置 11 より映画に関するアンケート情報が送信される。来場者端末装置 12 ではこれを受信し (S 4 1 9)、ディスプレイ 12 d にアンケートに回答するか否かを問う画面を表示して、入力キー 12 e によって回答する旨の入力がされると (S 4 2 0)、質問事項をディスプレイ 12 d に表示する (S 4 2 1)。入力キー 12 e により回答情報が入力され (S 4 2 2)、すべての入力が終了すると、リーダライタ 12 c より IC カードに記録された来場者の年齢、職業等の個人情報が読み込まれ、この個人情報とともに回答情報が情報収集装置 11 に送出される (S 4 2 3)。なお、このとき読み込まれて送信される個人情報の内容は、アンケートの回答入力時に表示されるか、あるいは来場者によって指定されてもよい。以上のようにアンケートの回答が終了した後、またはアンケートを回答しない旨の入力を行った (S 4 2 0) 後、カード挿入部 12 g より IC カードが取り出され (S 4 2 4)、来場者はこの IC カードを持って会場 10 を後にする。

【0028】

このように、来場者端末装置 12 が各座席に設置されたことにより、情報を提供する業者にとっては、従来と比較してより多くの情報を来場者一人一人に直接提供することができ、情報の伝達効率が非常に高められる。また、情報を収集する業者にとっては、この来場者端末装置 12 による来場者の情報入力のしやすさから、アンケートの回答率が高くなり、より多くの情報を収集することが可能と

なる。さらに、来場者にとっても、より多くの情報を得ることができ、なおかつ、ＩＣカードを用いて個人情報自動的に入力される、あるいは自動的に料金の決済が行われることによって、興味を持った情報に対する資料請求や商品の購入を手軽に行うことができる。

【 0 0 2 9 】

次に、図 5 に映画館における情報収集装置 1 1 の動作フローを示す。

会場 1 0 に来場者の入場が開始されると、来場者は座席に設置された例えば来場者端末装置 1 2 に、持参したＩＣカードを差し込み、情報収集装置 1 1 とＬＡＮ 1 5 a を介して通信され、ＩＣカードと来場者の認証処理が行われる（Ｓ 5 0 1）。来場者端末装置 1 2 にＩＣカードが差し込まれたことを示す情報はＬＡＮ 1 5 a を通して送信され、情報収集装置 1 1 ではインタフェース 1 1 a によってこの情報を受信すると、制御装置 1 1 b の制御によって暗証番号の入力画面の情報を記憶装置 1 1 c より読み出し、来場者端末装置 1 2 に送信する。来場者端末装置 1 2 にて入力画面が表示され、暗証番号が入力されてＩＣ番号に固有の識別番号とともに送信されると、情報収集装置 1 1 ではこれらの情報を受信し、制御装置 1 1 b の処理によって記憶装置 1 1 c から、受信した識別番号に対して登録されている暗証番号を読み出して入力番号と比較し、この認証結果を示す情報をＬＡＮ 1 5 a を通じて送信する。この認証は映画の上映が終了されるまで、来場者が入場し座席に着くたびに行われる。

【 0 0 3 0 】

一方、このＩＣカードの認証処理と並行して、来場者に対する情報の提供および回答情報の受信（Ｓ 5 0 2 ～ 5 0 5）が行われる。映画に関する商品等の情報は、情報収集装置 1 1 への図示しない入力手段による直接入力、あるいは外部の公衆電話回線 7 0 a で接続された情報提供会社のサーバ等から、あらかじめ記憶装置 1 1 c に記憶される。会場 1 0 に来場者の入場が開始されると、商品の情報を記憶装置 1 1 c より順次読み出し、インタフェース 1 1 a によりＬＡＮ 1 5 a を通じて来場者端末装置 1 2、1 3 および 1 4 に送信する（Ｓ 5 0 2）。

【 0 0 3 1 】

この送信の間に、例えば来場者端末装置 1 2 より商品の購入希望の入力がなさ

れると、情報収集装置 11 では購入希望の商品名および購入者の氏名、住所等の個人情報を含む購入情報を受信し（S503）、ICカードの認証処理を行う（S503）ために、暗証番号の入力画面の情報を記憶装置 11c より読み出し、来場者端末装置 12 に送信する。ICカードの挿入時の認証処理と同様に、来場者端末装置 12 にて入力画面が表示され、暗証番号が入力されて IC 番号に固有の識別番号とともに送信されると、情報収集装置 11 ではこれらの情報を受信して、制御装置 11b の処理によって記憶装置 11c から、受信した識別番号に対して登録されている暗証番号を読み出し、入力番号と比較する。この認証結果を示す情報は LAN 15a を通じて送信される。来場者端末装置 12 では IC カードが認証されると、IC カードに蓄積された通貨価値から所定の料金が引き落とされ、情報収集装置 11 では料金の決算が正しくされたことを確認すると、記憶装置 11c に購入情報を記憶する（S505）。映画の上演時間になるまでは、このような商品の購入受付は続けられる。

【0032】

映画の上映開始時間になり、スクリーンにコマーシャルフィルムが流されると、情報収集装置 11 では、コマーシャルフィルムで示された映画や商品等と同等あるいはこれに関する情報を、スクリーンの進行に合わせて記憶装置 11c から順次読み出し、来場者端末装置 12、13 および 14 に送信する（S506）。この送信の間に、例えば来場者端末装置 12 より、送信内容に関する資料請求の入力がなされ、資料請求の内容と、氏名、住所、電子メールアドレス等の請求者の個人情報とを含む資料請求情報が送信されると、情報収集装置 11 ではこの資料請求情報を受信し（S507）、記憶装置 11c に記憶する（S508）。映画の本編の上映が開始されると、情報収集装置 11 では、映画の出演者や内容の説明等の情報を記憶装置 11c より順次読み出し、映画の進行に合わせて来場者端末装置 12、13 および 14 に送信する（S509）。

【0033】

映画の上映が終了すると、情報収集装置 11 では、映画の内容等に関するアンケート情報を読み出し、来場者端末装置 12、13 および 14 に送信する。回答が入力されて返送されてきた回答情報を受信すると（S511）、これらを記憶

装置 1 1 c に記憶する (S 5 1 2)。会場 1 0 から来場者が退場し、回答情報の受信が終了すると、記憶装置 1 1 c に記憶された、商品の購入情報、資料請求情報およびアンケートの回答情報が集計される (S 5 1 3)。商品の購入情報や資料請求情報は、商品ごとに数量や、購入者、請求者の個人情報が集計され、アンケートの回答情報からは年齢別、あるいは職業別等の回答状況等が集計される。これらの集計結果は、公衆電話回線 7 0 a を通じて、商品の販売業者やアンケートの依頼業者のサーバへ送信される (S 5 1 4)。

【 0 0 3 4 】

例えば、商品の購入情報の集計結果は販売業者に送信され、販売業者はこの集計結果から、購入を希望した来場者の自宅へ所定の商品を郵送すると同時に、各会場での売り上げ状況を把握する。また、映画の配給会社等は、各地の映画館から送信された資料請求情報やアンケートの回答情報を受信し、請求された資料は郵送、あるいは電子メール等によって請求した来場者に所定の資料を届け、アンケートの回答情報はこの業者のサーバにてさらに所定の集計を行い、今後の事業の参考資料として用いる。

【 0 0 3 5 】

このように、来場者情報収集システムによって、映画会社や公演の主催者等、情報を収集したい業者は、従来と比較してより多くの情報を効率よく収集することができ、また商品の販売業者は、販売員を必要とせずに商品の注文および料金の決算を行うことができるので、商品の販売効率を高めることができる。さらに来場者にとっては、購入したい商品や必要な資料等を郵送や電子メール等の方法で受け取ることができ、これらを会場から持ち帰る煩わしさが解消され、便利である。

【 0 0 3 6 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の来場者情報収集システムでは、来場者端末装置の設置によって各来場者に対して多くの情報を提供することが可能になる。また、回答情報入力手段および個人情報読み込み手段によって来場者が情報を容易に入力可能で、この入力情報を情報収集装置で自動的に受信して集計するので、情

報の提供者は提供した情報の内容に対する来場者からの回答情報を、来場者の個人情報とともに効率よく収集することができる。

【 0 0 3 7 】

また、本発明の来場者情報収集方法では、来場者端末装置の設置によって各来場者に対して多くの情報を提供することが可能になる。また、回答情報入力手段および個人情報読み込み手段によって来場者が情報を容易に入力可能で、この入力情報を情報収集装置で自動的に受信して集計するので、情報の提供者は提供した情報の内容に対する来場者からの回答情報を、来場者の個人情報とともに効率よく収集することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の来場者情報収集システムの概要について示す図である。

【図 2】

来場者情報収集システムの装置構成例を示す図である。

【図 3】

来場者端末装置の形態例を示す図であり、（a）は来場者端末装置の座席への設置例を示し、（b）は外觀の平面図を示す。

【図 4】

映画館における来場者端末装置の動作フローを示す図である。

【図 5】

映画館における情報収集装置の動作フローを示す図である。

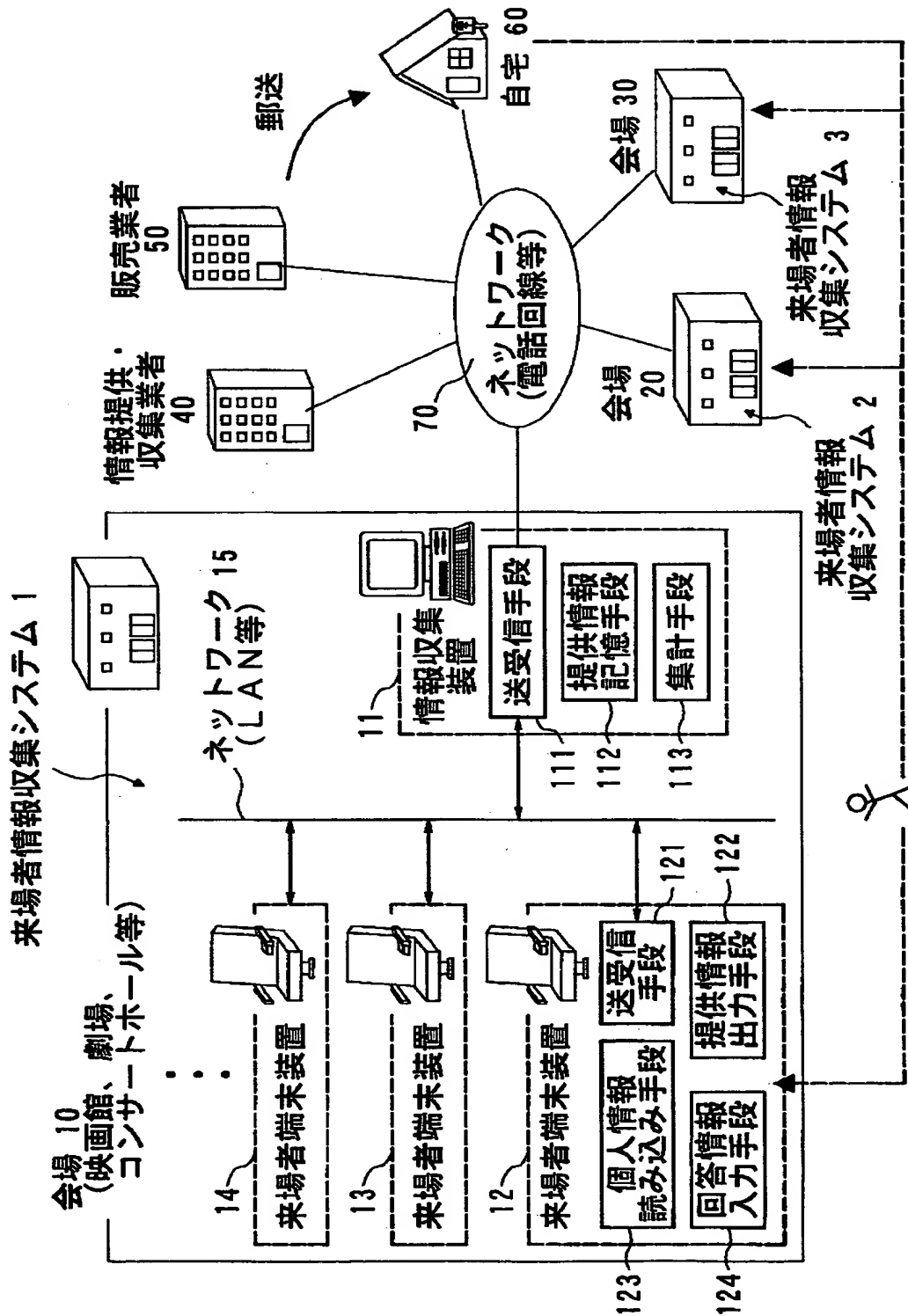
【符号の説明】

1、2、3 ……来場者情報収集システム、10 ……会場、11 ……情報収集装置、12、13、14 ……来場者端末装置、15 ……ネットワーク、20、30 ……会場、40 ……情報提供・収集業者、50 ……販売業者、60 ……自宅、70 ……ネットワーク、111 ……送受信手段、112 ……提供情報記憶手段、113 ……集計手段、121 ……送受信手段、122 ……提供情報出力手段、123 ……個人情報読み込み手段、124 ……回答情報入力手段

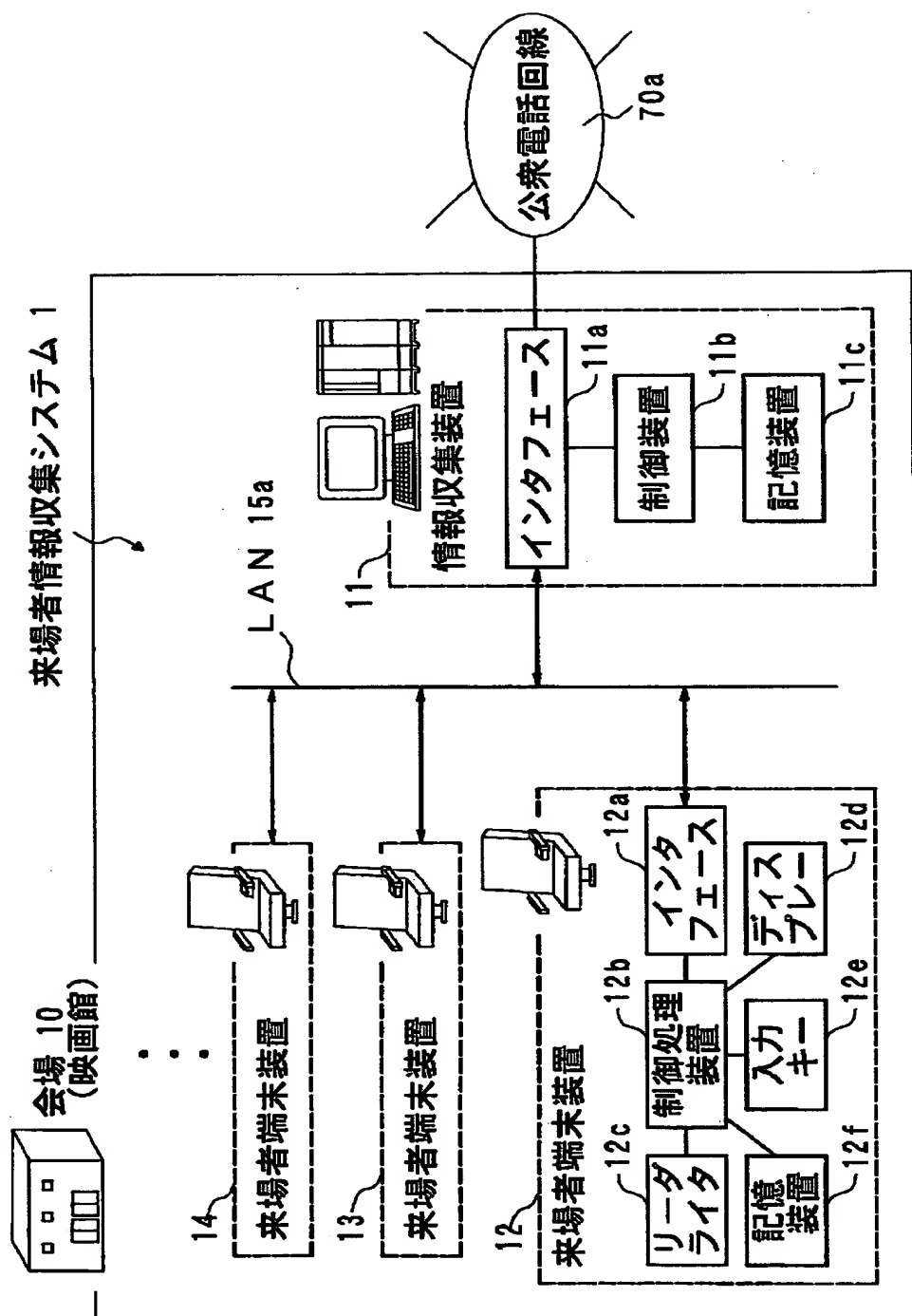
【書類名】

図面

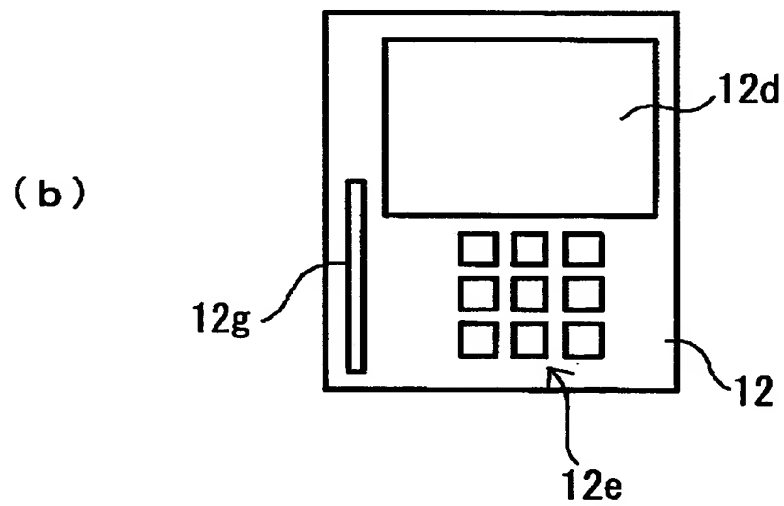
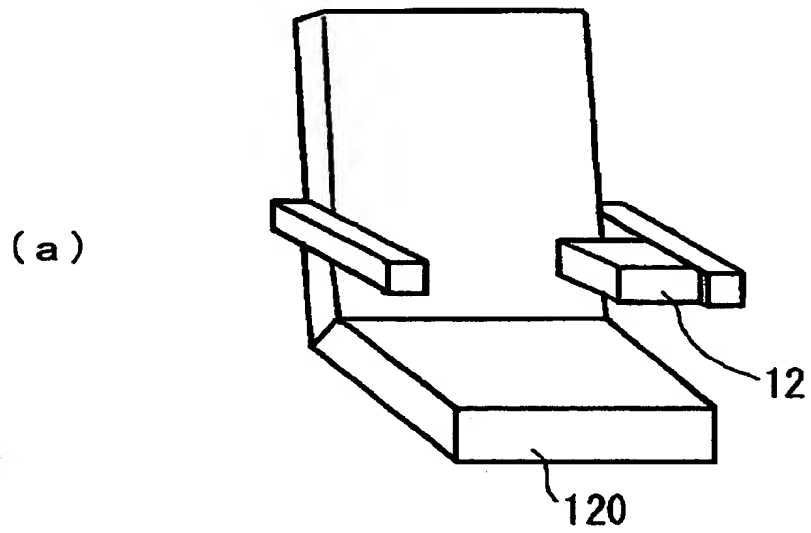
【図 1】



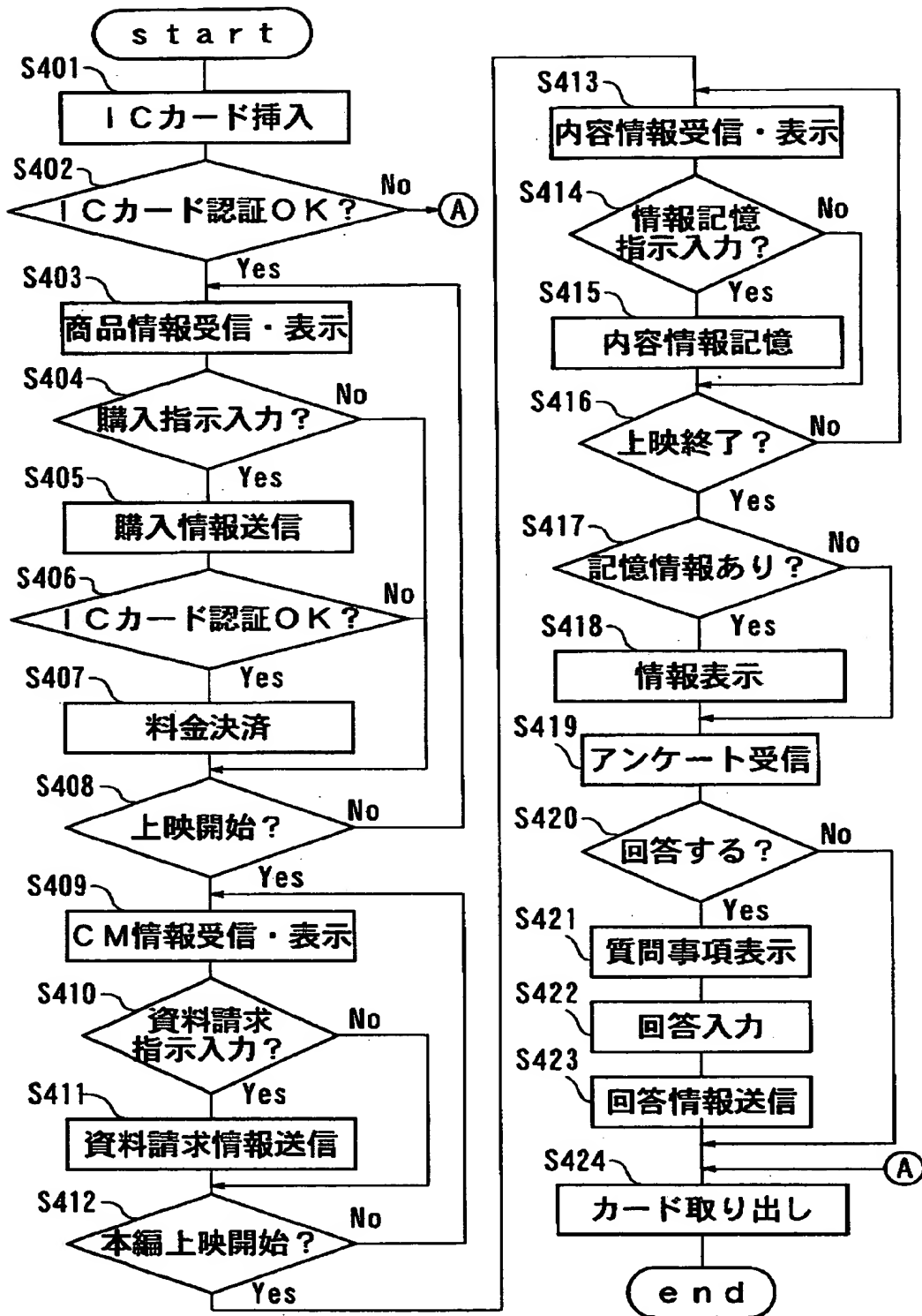
【図 2】



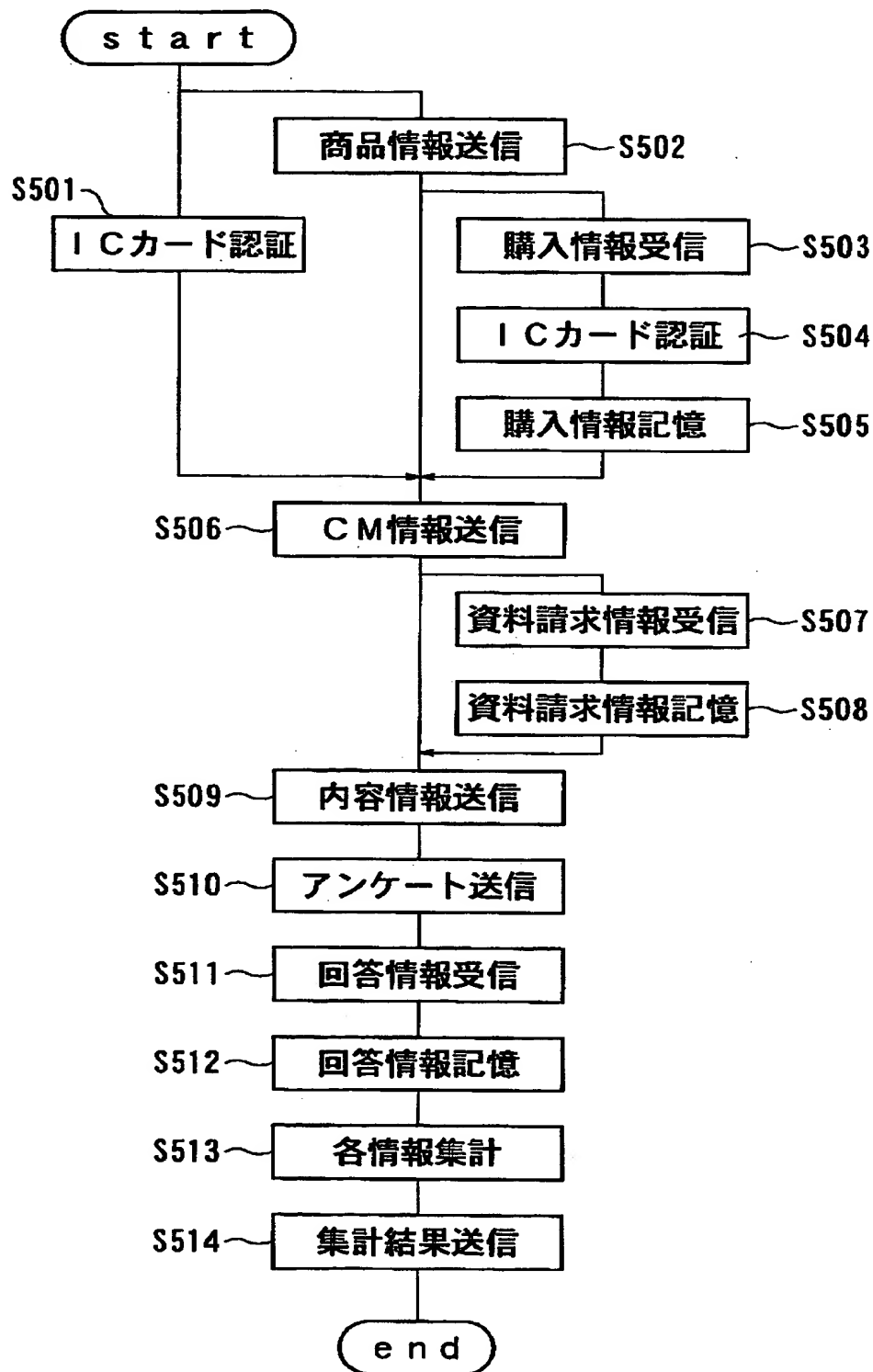
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 映面上映や演劇上演の会場の来場者に対するより多くの情報提供および情報収集を効率よく可能にする。

【解決手段】 会場10内の各席に設置された来場者端末装置12において、来場者の個人情報があらかじめ記憶された記憶媒体から、個人情報読み込み手段123によって個人情報が読み込まれ、ネットワーク15によって接続された情報収集装置11より送信された提供情報が受信されて提供情報出力手段122によって出力され、提供情報に対する来場者からの所定の回答情報が回答情報入力手段124によって入力されて送信され、情報収集装置11において回答情報および個人情報が受信され、集計手段113によって集計される。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2000-177323
受付番号	50000734943
書類名	特許願
担当官	塩崎 博子 1606
作成日	平成12年 6月21日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】	申請人
【識別番号】	000002185
【住所又は居所】	東京都品川区北品川6丁目7番35号
【氏名又は名称】	ソニー株式会社
【代理人】	
【識別番号】	100092152
【住所又は居所】	東京都八王子市東町9番8号 八王子東邦生命ビ ル 服部特許事務所
【氏名又は名称】	服部 毅巖

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏 名 ソニー株式会社